

AutoMate (Plus/Ultimate)

日本語パック適用手順書



三和コムテック株式会社



作成日：2020/05/28

更新日：2024/01/31

空白のページです。

目次

1	はじめに.....	5
2	AutoMate 日本語パックのインストール.....	5
2.1	日本語パックのインストール.....	5
2.2	「ja」フォルダの移動.....	8
2.3	日本語 UI への変更確認.....	10

空白のページです。

1 はじめに

本書では、AutoMate (Plus/Ultimate) に日本語パックを適用する手順を記載します。

2 AutoMate 日本語パックのインストール

2.1 日本語パックのインストール

本章では、AutoMate (Plus/Ultimate) 日本語パックのインストール手順を記載します。

日本語パックのインストールは、AutoMate (Plus/Ultimate)の管理コンソール(ライセンスにおけるスタジオ)、実行環境 (Agent(ライセンスにおけるボット))サーバー本体 (Execution Server, Management Server 導入環境)のすべてに対して行います。

※11.3 以前のバージョンをご利用の場合は項番 2.2 の実行が追加で必要です。

※本手順書は AutoMate 2023 の画面を使用していますが、2022 以前も手順は同様です。

1) AutoMate Enterprise – Language Pack (Japanese)のインストーラーを実行します。

※11.3 以前のインストーラーは、64bit 版 OS, 32bit 版 OS 共通です

※11.7 以降では 32bitOS はサポートしていません

【バージョン 22 以前】

■64bit

Automate Enterprise – Language Pack x64(Japanese).exe

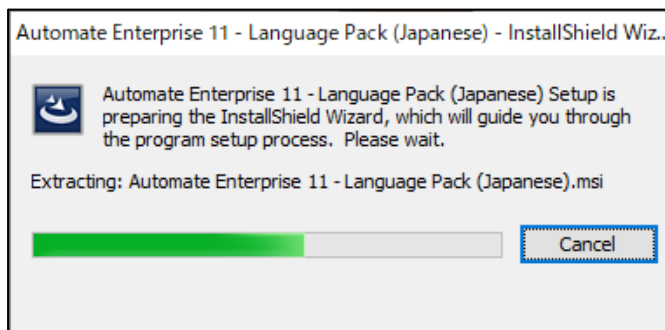
■32bit

Automate Enterprise – Language Pack x86(Japanese).exe

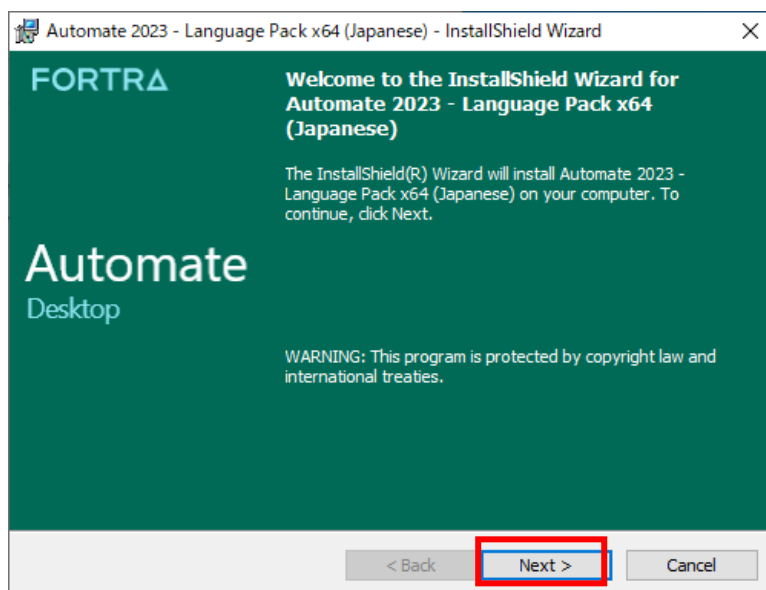
【バージョン 23 以降】

■64bit

Automate – Language Pack x64(Japanese).exe

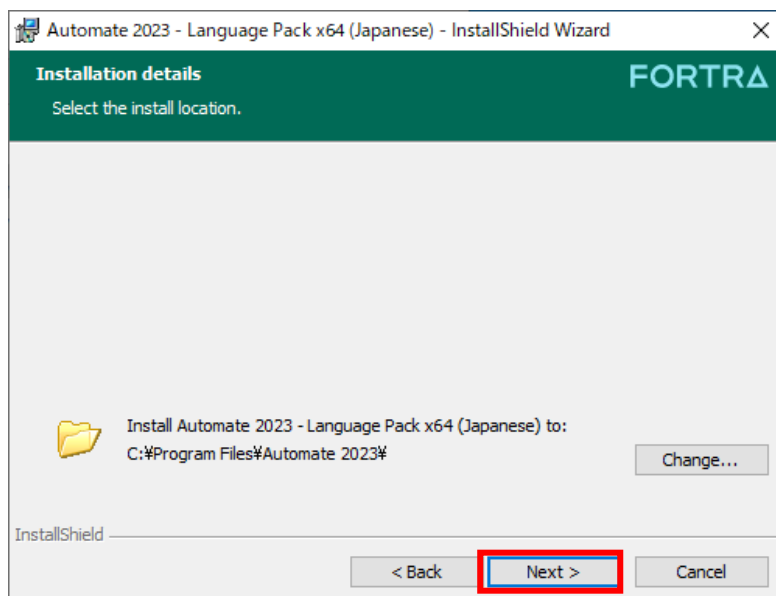


- 2) 下記画面が表示されましたら「Next」をクリックします。

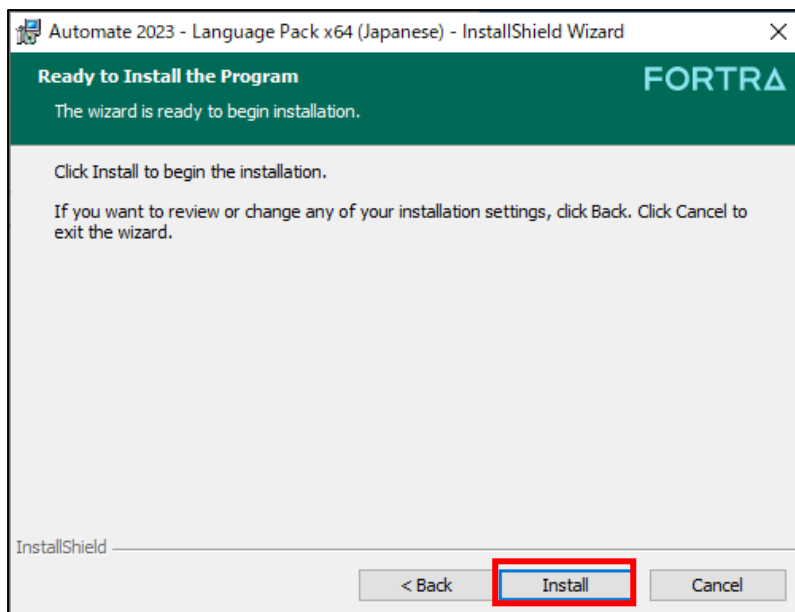


- 3) 何も変更せず「Next」をクリックします。

11.3 以前では、インストーラーの不具合にて、64bit 版 OS の場合どのインストール先を指定しても「C:\Program Files(x86)\AutoMate Enterprise 11\」に導入されてしまう為、項番 2.2 の手順にて手動でフォルダを移動させます。

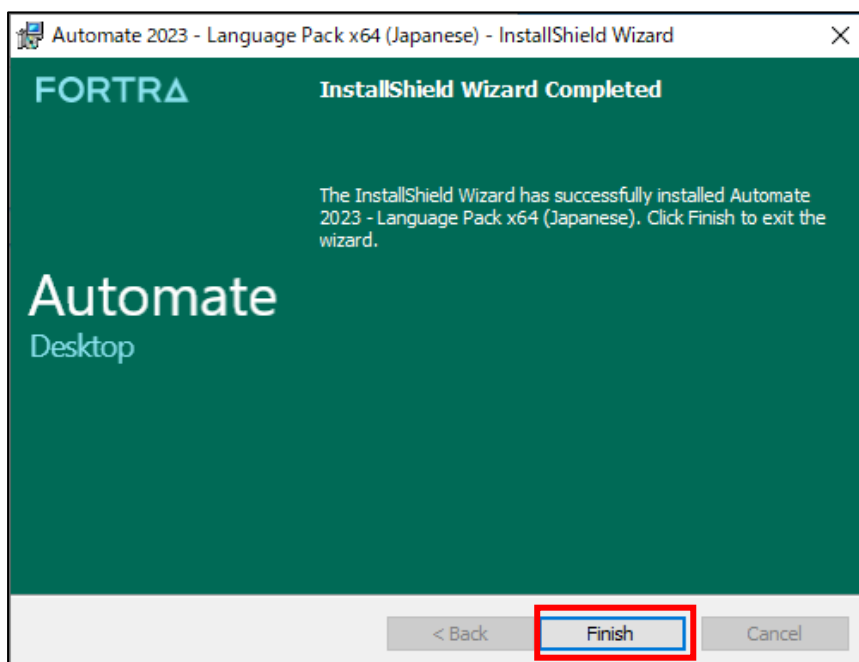


- 4) 「Install」をクリックします。



インストール完了後、「Finish」をクリックします。

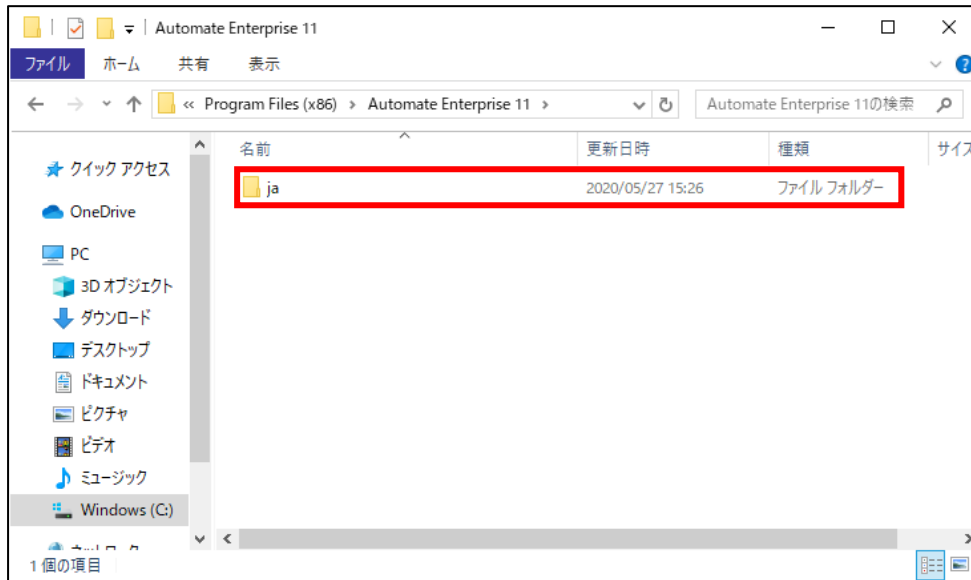
11.3 以前の 64bit 版 OS では、この後フォルダの移動を行わないと、AutoMate Plus/Ultimate 11 の日本語 UI が適用されません。項番 2.2 の手順に従いフォルダを移動します。



2.2 「ja」フォルダの移動

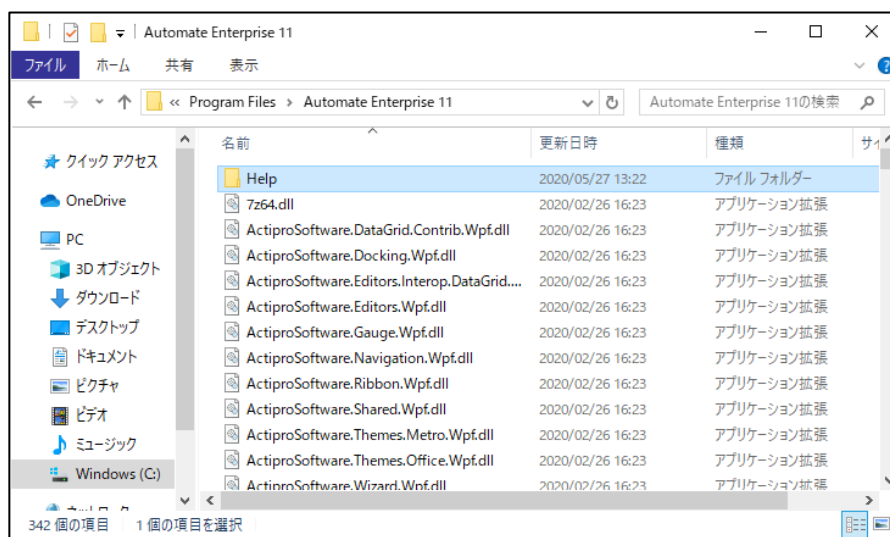
- 1) 11.3 以前の場合、インストール完了後、「C:\Program Files (x86)\Automate Enterprise 11」フォルダに移動し、「ja」フォルダをコピーするか、または切り取ります。

※11.4 をご利用の場合、項番 2.3 の UI 確認に進みます。

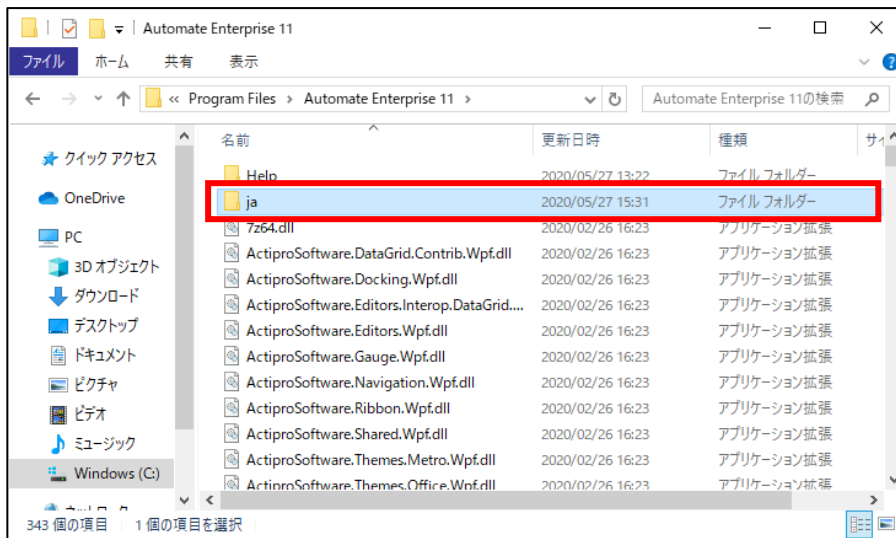


- 2) 「C:\Program Files\Automate Enterprise 11」フォルダに移動し、手順 5) でコピーした「ja」フォルダを貼り付けます。

(貼り付け前)



(貼り付け後)



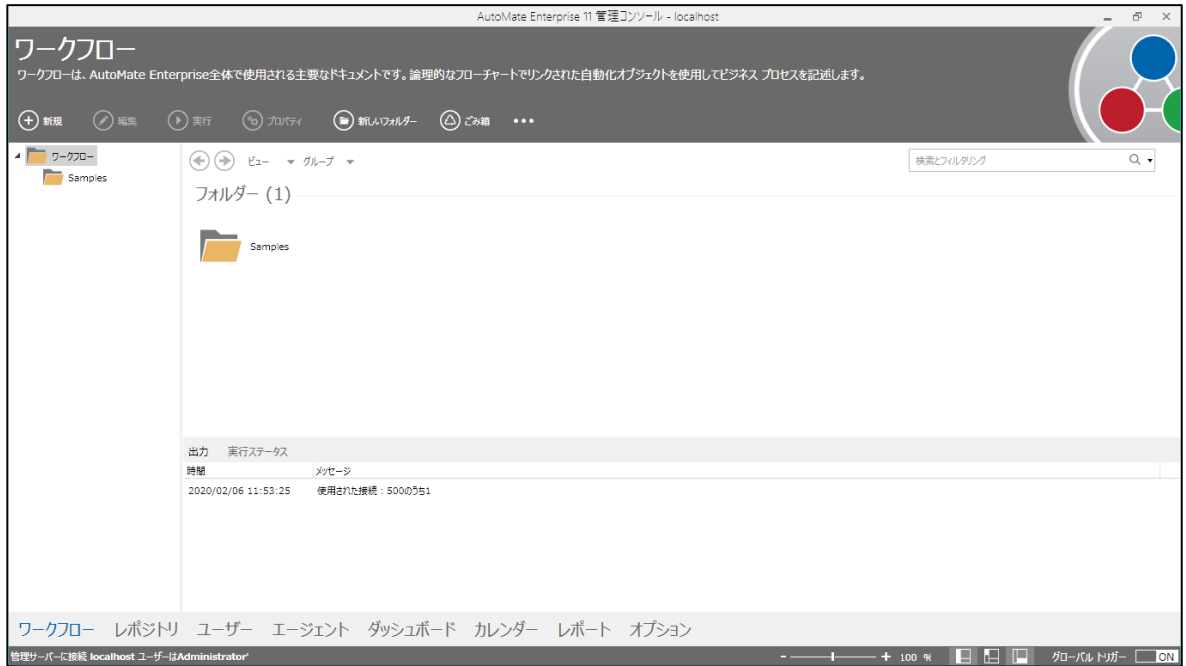
2.3 日本語 UI への変更確認

フォルダ移動完了後、以下をご確認ください。

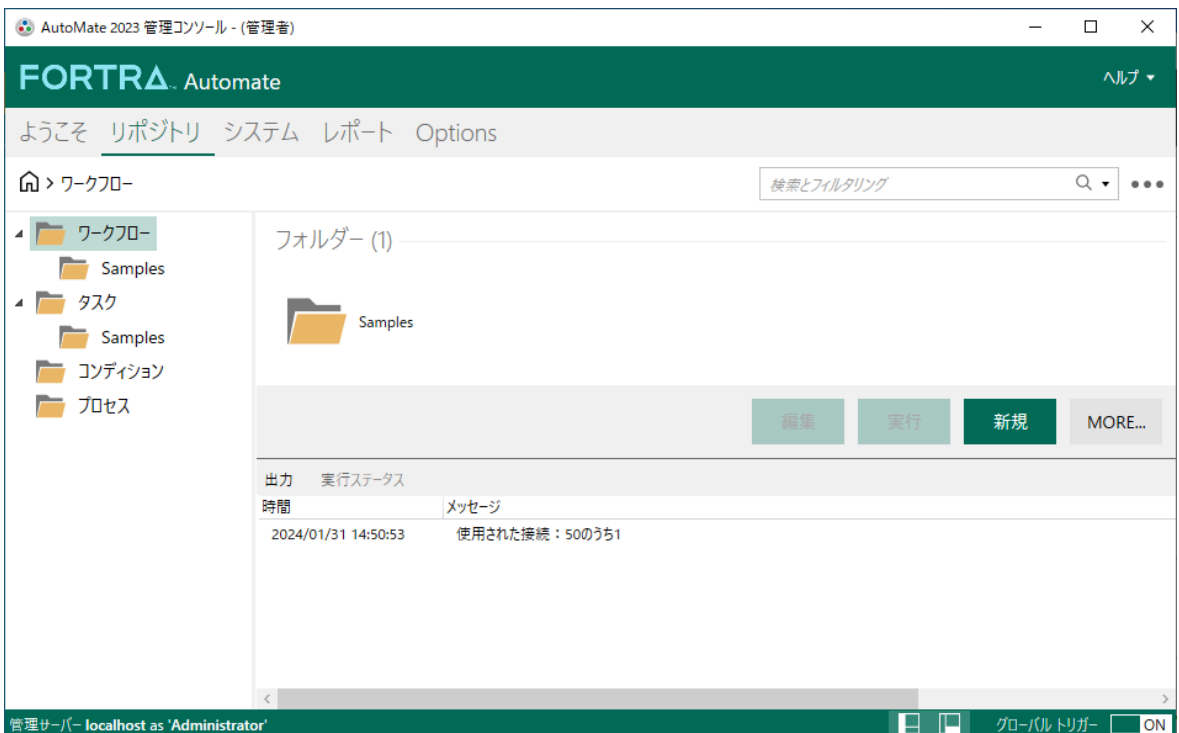
① Development Tools(管理コンソール(ライセンスにおけるスタジオ))の場合

Automate Management Console を実行し、UI が日本語になっていることを確認します。

【バージョン 22 以前】



【バージョン 23 以降】



- ② サーバー本体 (Execution Server, Management Server 導入環境)、Agent(ライセンスにおけるボット)環境の場合

一度タスクを実行し、ログの UI が日本語になっていることをご確認下さい。

ログは以下の場所のログ (テキストファイル) をご確認ください。

バージョン 11.7 以前

C:\ProgramData\AutoMate\Automate Agent 11\Logs 配下

バージョン 22

C:\ProgramData\Automate\Automate Enterprise 2022 Agent\Logs 配下

バージョン 23 以降

C:\ProgramData\Automate\Automate * Agent\Logs 配下 ※*はバージョン

なお、ProgramData は隠しファイル (フォルダ) となります。隠しフォルダを表示させるには、エクスプローラー内「表示」タブ→「隠しファイル」にチェックが入っていることをご確認ください。

正常に実行できない場合は以下をご確認ください。

- ・フォルダは移動していますか？
- ・「C:\Program Files(x86)」フォルダ等にアクセス権のあるユーザーを使用していますか？



お問い合わせはこちらまでご連絡ください。

Email : automate@sct.co.jp